

会 議 録 (概要)

1	会 議 名	平成25年度第2回習志野市健康なまちづくり審議会
2	開 催 日 時	平成25年 7月17日(水) 午後1時30分～午後3時00分
3	開 催 場 所	市役所仮庁舎3階大会議室
4	出 席 者	<p>委 員：堀部委員(会長)、島内委員(副会長)、村山委員、櫛方委員、山森委員、井上委員、押田委員、渡辺委員、後藤委員、高梨委員、手塚委員、戸倉委員、三代川委員(出席13名)</p> <p>(欠 席：宮崎委員、鈴木委員)</p> <p>事務局：真殿保健福祉部長、松岡保健福祉部次長、上岡健康支援課長、小林主幹、山口主幹、中村主幹、鈴木係長、鳥見副主査、河西副主査</p> <p>傍聴者：なし</p>
5	議 題 及び 会議の概要	<p>・傍聴人の確認→傍聴人なし</p> <p>○議事</p> <p>(1)ヘルスプロモーションの考え方について</p> <p>島内副会長より、資料を使いながら講義</p> <p>(2)健康意識調査について</p> <p>事務局より、資料を使い説明</p> <p>質疑応答</p> <p>会 長：平成27年度からの次期健康計画を策定するにあたって重要な参考資料となりますので、質問事項等に関して忌憚のないご意見をいただけたら幸いです。時間の関係上、簡潔に1人2～3分程度で順番にご意見をお聞きしたいと思いますのでお願いします。</p> <p>A委員：4部門について、歯科の分野を拝見させていただきましたが、歯科に関しましては、歯科・口腔内ということで定期的に検診を受けているとか、問題はないと思います。全体的に見て運動面とか、健康面とかバランスのとれた調査項目になっていると思います。歯科は私ひとりだけなので、歯科医師会に帰ってみんなで検討させていただきたいと思います。何かありましたら提案させていただきます。</p> <p>B委員：はじめに1-2の調査対象が、20歳以上2,000人を市内全域から無作為抽出とありますが、本当に完全な無作為です</p>

か？年齢による違いは分からないですか？たとえば20歳代の方が1,000人で60歳代の方が何人とか、まったく無作為だとバランスは全然違うのですよね

事務局：無作為抽出ですから、習志野市の年齢構成、地域性がそのかたちそのまま抽出されるということですから、20歳代の人と60歳代の方が習志野市にどれくらい分布しているかそのままのかたちが出るのが、無作為抽出になります。

B委員：それなら、年齢によって参考にならないという事はないのですね。

事務局：年齢層もそのまま反映されるということです。

B委員：この中からと選ぶ基準があるでしょうが、それも人口構成から選ぶのですね。

事務局：それも、年齢構成、人口構成ともに習志野市のものが無作為ですので、ギュッと縮小されたかたちで反映されますのが、無作為抽出ということです。

B委員：統計学のことを解らなかったので、2,000人無作為で選んで、バラつきがなかったらいけないなと思ったので

会長：20歳以上の構成の山と同等のサンプリングが出来るという事です。

事務局：その通りです。

B委員：それと、かかりつけ医を持ってほしいということがありますが、相談する時もどこで情報を得ていますか？と問いもあるのですが、できればかかりつけ薬局みたいなものを入れていただいた方が今後いいかと思います。色々な情報の中で、やはり最近お薬手帳とかを参考にされておりますので、詳しくは見れなかったのですが、そのような項目があったらいいかなと考えます。

C委員：健康に対する意識調査ということなので、仕方がないかもしれませんが、病気をしたばかりの人とか答えようがないですよね、知識としてロコモティブシンドロームとかCOPDを知っていますかというのは知識としてはあるでしょうが、2,000人を選ぶとおそらく何十人かは大病した後の人も入ってくると思います。そういう人はどうやって答えたらいいか難しい設問だと思いました。たとえば、胃の手術をした人が毎朝朝食をとっていますかと聞かれたらどうやって答えたらいいかなと思いました。

D委員：細かい話を含めてということになってしまいますが、資料1-2の3ページ問13ですが、ここに「ふつう」と項目があるのですが、今はあまり「ふつう」を作らないような選択肢を作るのではないかと思います。前回があったのかもしれませんが。

6 ページの喫煙についての問 2 7 ですが、「職場」「家庭」「飲食店」とありますが、例えば屋外ですね、道路・公園などもあった方がいいのかなと、これは何を前提にしているかという、都市整備の点からいうと、これをもとに規制をかけた方がいいとかいうことに関して資料にできるのではないかと思います。

1 1 ページの問 5 0 の 3 の項目で生産・就業の生産・就業という言い方が解らない、特に都市整備と就業を問題にしている中の設問になりますから、生産・就業がよくわからないのですが、シルバー人材センターなどの就業の項目を別に作ってもいいのかなという気がします。生産・就業（生きがいのための園芸、飼育、シルバー人材センター）の並びが解りにくいので、就業関係のことは別にしてもいいのかなと、ボランティア的なことは下に出てくるので、それから資料 1 - 3 の 1 ページの問 4 妊娠中、気をつけたことは何ですか。あてはまるものを 3 つ以内で、とあるんですが例えば、栄養に気をつけた 運動をこころがけた 医師の指示を守った だけで 3 つになってしまうので体重に気をつけた 無理しないようにしたとか 3 つ以内になってしまうとどれも優越つけがたいという気がするんですが、少ない答えでも たばこをやめたとか貴重なことですから、3 つ以内というのはどうかなと、色々なことに気を付けた人はチェックをつけられなくなってしまう。それから 2 ページ目の問 1 0 で、よいお産ができましたか、これは漠然とよいお産といっているのですが、あまりできなかった できなかった にチェックした人には理由を聞いてみたい気がするんですけども、貴重な意見が出てくるかもしれませんし、4 ページ目の問 1 6 で満足していない という人にも理由を聞いてみたいと、それから資料 1 - 4 の 5 ページの問 2 2 で活動の目的を一つ選んでということですが、これも、人との交流が楽しいという人もいるでしょうし、地域課題の解決をして社会貢献しているのだという人もいるでしょうから、一つに絞れない設問になるなという気がします。それから資料 1 - 5 の 5 ページの問 1 8 のところですが、経団連のアンケートを参考にしたとのことですが、質問の意味が私にはよくわかりません。事業主、経営者が見ればわかるのかもしれませんが、例えば法令順守を超えた社会的良識の範囲で活動とありますが、③番は社会的良識の範囲を超えた話かということになるとそうじゃなくて、持続可能な社会の創造だということ、両方に丸をつける人もいるのではないかという気もするし、その下のガバナンス、環境などでも法令順守かそうでないとかちょっとよくわからない、経営者なら分かるのかもしれないけれど、そのような印象でした。

E 委員：以前教育委員会に勤めていた時によくでてきた言葉の中に、子供の 貧困という言葉がありました。子供が貧困な訳ではなくて親世代が貧困なために、子供たちの教育格差が生まれているのではないのかとの質問を議員さんからよく受けました。今、この設問を見ていく中で、この結果をクロス集計していくと思うのですが、住んでいる地区と世帯構成人数と収入をクロス集計させると、何が分かるかという、どこどこ地区は例えばひとり親家庭が多くて、収入は100万～200万以下の世帯が多い、というような結果が出てくると仮定すると、これがきちっとした結果として示された時に、私が危惧してしまうのは地域偏見を生むのではないかなと心配をしています。どのようなクロス集計をするのか解りませんが、一点どうかと思いました。二点目は資料1-3のところは母子世帯、お子さんをお持ちの世帯への質問項目ですが、ここで私は今、学校に勤めておりますので、二つの点でどうかと思う点があります。一点は親の生活時間に子供が合わせられているということです。これは、お父さんお母さんが働いている方が多くなってくると、自動的に子供の規則正しい生活が不規則に陥りやすいということです。学校の給食の時間は決まっています。ところが朝と夜の食事時間がまちまちであったり、取ったり取らなかったり、だいたい朝食を取らない子が5%ぐらいいはいるといわれておりますので、そうなってくると生活時間帯というのが子供たちの健康に及ぼす影響というのもこの1-3の資料の中で出てくるといいかなと思ったのが二点目です。三点目は学校で今、ちょっと心配事があるのがアレルギーの問題です。食物アレルギーだけではなくて、様々な子供たちへのアレルギー疾患があつてこれは先生の方が詳しいですが、私は校長ですので、自分の学校の子供たちの様子を見てみると、確かに何年か前、何十年か前と比べてみると、はるかに多くの子供たちがアレルギー疾患にかかっている、その原因はどこなのかなというのを調べてあげないと、子供はこれから大きくなっていきますので、子供たちのアレルギーの原因を何とかしないといけないのかなというのがこの中にあるといいなと思いました。以上です。

F 委員：2,000人の方に配布して、投函するようになっていますが、どれぐらいの回収率なのでしょう。自分自身、全部読んで、一生懸命やるって、読むことで命一杯、書くことも命一杯の人もいるだろう、投函することになってポストはどこにあるかな、あそこまで歩いて行かなきゃいけない、となるとなかなか投函するまでにいかないような気がしたのですが、ある程度若かったりすれば、パパパって読んだり書いたりできるのですけど

事務局：前回の回収率といいますか50%弱でしたので、100%行かないにしても70～80ぐらい回収したいなどは考えております。

真殿部長：無理です。ありません

F委員：偏ったりはしないのですか

真殿部長：偏らないです。概ね、どのアンケートを実施しましても、50%程度がいいところです。40～50%ぐらいがほぼどのアンケートでも同じ結果がでますので、その程度だと思います。今回2,000人が対象ですので1,000人程度の回収だと考えておりますけれども、これは統計学上で申し上げますと1,000名以上の回収があれば16万市民の全体の傾向を把握する上では全く問題はないとのこと。

会長：1番、2番に関しては、誰に調査票が行くか全く解らないとのことですから、回収率をアップさせるような方法を市は考えなければいけないのではないですかね、せっかくのこの計画が半分うまく行かないわけですからよろしくお願いします。

G委員：私は、本当の素人でございます、これ1冊を見せていただきまして同じような回答をしなくちゃいけないところもありますし、4つに調査が分かれておりますので、一つ一つを見てみたのですが、専門的なことが入ったりしていると、これはどうなのかと思う所もありましたし、ちょうど明後日、私どもあじさいクラブ連合会の会長会があるので、会長さんが55～6人集まりますので、この調査を、市民活動団体として調査票が渡った方は積極的に記入し、返答するよう伝えます。

私も見せていただいて難しいことをみなさんおやりになったり市の職員の方も大変だなと思いながら自分でチェックをさせていただきました。結論としましては、大変な調査だなと思います。個々に人間の体ですから違う面がたくさんあると思えますし、一概にこれを書いて出さないといわれましても躊躇する人が多いんじゃないかと思えます。できればもう少し、くだけた物を出していただけたらと思います。

H委員：私どもも、この調査票でいくと市民団体に入りますが、これについて全部見てみましたが、別に問題はないと思います。が回収率の話が出ましたが、スポーツクラブを立ち上げる時に、実叅・東習志野地区の人口25,000人の中で、2,800回収ができたので、11%色々なスポーツに関するアンケートを実施した経験があります。ほぼ、そういったものをベースにしてスポーツクラブを立ち上げているわけですがけれども、別に市民団体の間14ですが、現状の満足度と重要度のところが非常にシビアな質問だなと思いました。気がついたのはそれぐ

らいです。

I 委員：20歳以上方2,000人というのが頭の中に入りまして、先ほど、榎方先生の方からもありましたけれど、まず高齢者の方がこれを受け取った時に、これだけの質問に対してどうやってやっていくのだろうと本当に思いました。今は、私も福祉関係に気持ちを入れてますが、以前は全く関係のない世界にいましたので、以前でしたら全然回答しなかったと思うのですね。予算をどのくらい組んでいच्छゃるとかは解りませんが出来るだけ、費用はかけずにもっと簡素化できる方法を考えていただいてもいいと思います。高齢者の方も回答できて、ママ達も子供の世話をしながら回答できてその辺を工夫していただけたらなと思いました。

J 委員：アレルギーの問題なんかも、1型、2型、3型、4型とあって非常に難しいものだなと思いました。子供を育てる親には、アレルギーの問題は知っていないといけないし、免疫や細胞の問題だとか、すぐアレルギーが出るものであったり、ツベルクリンのように後から出る遅延型のものもあるし、食べ物のももあるし、色々なものがあるので知ってほしいけれども難しいなと思いました。それから、発達障がい児のことについても、質問があったらいいなと思うのですが、発達障がい者支援法というのが検討はされているのですが、ただしこれは、子供子育て法が平成27年に審議されているのだけれども、平成27年にならないと施行されないということで、施行されたら発達障がいの方も有効になるということになってるらしいので法律があるぐらいのものは、親になる人は知っておいた方がいいなと思いました。

K 委員：この2,000人と4つの対象者にバランスよくこの質問事項を送るわけですか？

事務局：資料1-1をご覧になっていただいて、2、調査内容の(2)抽出・調査方法・期間の欄に①の一般から④事業者まで抽出方法と抽出数が一般でしたら無作為抽出の抽出数2,000人のように書いてあります。

K 委員：わかりました。皆さんからご質問や意見が色々出ましたので特別ありませんが、すでに広報習志野、JR津田沼からモリシアに向かう所に横断幕で、出ておりますのでそれぞれみなさんの意識が徐々にでも高められている時期だと思うので、自分のところにもこのような書類が届いたら選ばれた方なのでということで協力していただけたらと、そのような方面で協力できたらと思います。

会 長：みなさんありがとうございました。

それでは、私の方からもいくつか、一般の調査票3ページ問14 毎年健診を受けていますかですが、この健診はがん検診の検診と一文字違いで間違っている人もいるかもしれないので、最初だけでも健康診断とした方がいいかなと思います。それから、その6ページ問28のこれまでにたばこを吸ったことがありますか1 合計100本以上、または6か月以上すっている（吸っていた） こういう設問形式なのかもしれませんが、合計100本以上という聞き方は解りにくいかもしい、一日何本以上何日以上吸っていたというように具体的に解りやすい方が、答える方は、答えやすいかもしれないですね。それから、7ページ問29 COPD という病気を知っていますか。この下の COPD とは、セキやタンなどと書いてありますけれども、「慢性気管支炎」「慢性肺気腫」とありますが、肺気腫には慢性はないのでこれは肺気腫ですね。それから、問49 趣味や楽しみにしていることはありますか二択ですが、どちらともいえないというのを入れておいた方がいいと思います、おそらくそういう人が多いと思うので、無記入になってしまう可能性もありますからつづいて、資料1-3、2ページ問7 マタニティマークを利用したことがありますか、このマタニティマークというのは周知されているのでしょうか、周知度によっては下に四角で説明を入れた方が理解してもらえるとと思います。そのページの一番下の問11 産後1か月までの時期に協力してくれた人はいましたか いた、いなかったの二択ですがこれもどちらともいえないというケースが結構あると思うので、三択にして問12へとした方がいいと思います。最後に6ページ問20 お子さんが、休日や夜間に医療機関を受診したことがありますか、1 習志野市急病診療所 2 習志野市内の医療機関 3 八千代市の医療機関 とうとうありますけれど、八千代、船橋、千葉市の急病診療所に行ってる方も多いと思うのですね、習志野市だけを分けるのではなく、数は多くなりますがそれぞれ急病診療所も並べた方が分析はしやすいかと思います。

B 委員：今日出た意見について、何もなくアンケートを実施してしまい結果が出た1月まで、またなければいけないのか、どう委員に周知してくれるのですか？

事務局：今日、さまざまなご意見、ご指摘をいただきましたので、これをもとに、健康意識調査を実施いたしますけれど、その項目について決定をいたしましたら、それを委員の皆様にお知らせしたいと思います。

会 長：平成25年度の第2回健康なまちづくり審議会を終了させていただきます。委員の皆様方におかれましては長時間にわたりご

		審議いただきましてまことにありがとうございました。 本日はこれで終了いたします。
--	--	---